

大阪府立環境農林水産総合研究所 水生生物センター 共催講座

水生生物センターは水辺の自然や生きものを守る研究機関です。水辺の生きものの調査を行うとともに、調査結果を分析して生きものすみやすい環境をとり戻すための取り組みを行っています。また、天然記念物のイタセンパラをはじめ絶滅のおそれのある生きものを施設内で保存したり、自然環境に悪い影響を与える外来種の駆除に関する研究もを行っています。さらに、府民や企業と協働で外来種の駆除活動を行ったり、学校などへの出前授業や自然観察会の実施なども行っています。



【水生生物センターのご案内】

●〒572-0088 大阪府寝屋川市木屋元町10-4 ●TEL:072-833-2770 FAX:072-831-0229
●http://www.epcc.pref.osaka.jp/afr/fish/fish.html



淀川と人と魚たちの過去・今・これから

天然記念物であり、絶滅危惧種でもある淀川のシンボルフィッシュ「イタセンパラ」を中心に、大阪の文化や経済を育んできた淀川と人と淡水魚の過去・現在・未来について水生生物センターの研究者がお話します。



10/28
(日)

淀川の歴史に翻弄されるイタセンパラ その神秘的生態

淀川の河川改修に翻弄されるイタセンパラの解説と、秋に美しい紫色に色づき、生きている二枚貝の体内に産卵するイタセンパラの謎の繁殖生態に迫ります。

【講師】 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水生生物センター 主幹研究員 上原 一彦
【時間】 10:30~12:00
【受講料】 会員1,050円、一般1,575円



淀川のシンボルフィッシュ イタセンパラ

1/27
(日)

淀川の魚と食文化 ~人と魚の今昔物語~

淀川に生息する魚がどのように漁獲され、食されていたのか、また現在の淡水魚の状況や取り組みについてご紹介し、淀川や淡水魚をもっと身近に感じていただきます。

【講師】 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水生生物センター 研究員 山本 義彦
【時間】 10:30~12:00
【受講料】 会員1,050円、一般1,575円



「河内名所図会」雑魚取り

3/24
(日)

淀川のイタセンパラ絶滅か 野生復帰に向けた取り組み

なぜ、イタセンパラは淀川から消えてしまったのか、そして、その原因を克服し、再び淀川にシンボルは泳ぐのか、現在進められている淀川での取り組みの最先端をご紹介します。

【講師】 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水生生物センター 主幹研究員 上原 一彦
【時間】 10:30~12:00
【受講料】 会員1,050円、一般1,575円



イタセンパラ野生復帰支援の取り組み

※各講座とも、開催場所は近鉄文化サロン阿倍野です。

お申込み・お問合せは「近鉄文化サロン阿倍野」まで

掲載講座専用
フリーダイヤル

0120-106-718

※携帯・PHS等、一部の電話からはご利用いただけません。

【ホームページへのアクセスはこちら】 【その他のお問合せ・お申込みは】

近鉄文化サロン 検索 電話 (06) 6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階 [受付時間]10:00~20:00(日曜・休講日は10:00~17:30)

※休講日 10/8(月・祝)、10/30(火)、10/31(水)、11/23(金・祝)、11/29(木)、
12/29(土)~1/3(木)、3/29(金)~3/31(日)

※12/29(土)~1/3(木)は受付業務を休ませていただきます。

受講
お申込みは

- 事前にご予約のうえ、実施日の1週間前までにご入金手続きをお済ませください。
- 各講座とも満員になり次第、締め切らせていただきます。
- ※ただし、一定の人数に満たない場合は講座を中止させていただく場合もございます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途) 詳しくは、お申込み時にご確認ください。



※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。